

令和2年7月豪雨災害に係る
第2回こころとからだの健康に関する調査

【概要】

令和5年（2023年）3月

熊本県

1 調査の目的

こころとからだの健康状態に関して、個別に支援が必要な被災者を把握し、健康相談等の必要な支援につなげるとともに、市町村等において今後の被災者支援の方向性の検討や支援体制整備を行うための基礎資料とします。

2 調査の実施要領

調査期間	令和4年8月30日～令和4年10月31日
調査自治体	建設型応急住宅の建設及び100人以上の賃貸型応急住宅の入居者を抱える4市町村 (八代市、人吉市、芦北町、球磨村)
調査対象者	令和4年(2022年)7月31日現在、仮設住宅等に入居する18歳以上の者
調査方法	郵送による配布・回収
配布数	1,742人
回答数	991人
回答率	56.9%

回答者数の内訳(単位:人)

	R3.8	R4.8
	第1回7月豪雨	第2回7月豪雨
調査対象者数	2,875	1,742
回答者数	1,304	991
うち仮設	577	479
うちみなし仮設	628	418
うち災害公営住宅	99	94
回答率	45.4%	56.9%

3 調査結果利用上の注意

- 回答結果の割合「%」は有効サンプル数に対して、それぞれの回答数の割合を小数点以下第2位で四捨五入したものです。そのため、単数回答(複数の選択肢から1つの選択肢を選ぶ方式)であっても合計値が100%にならない場合があります。
- 複数回答(複数の選択肢から2つ以上の選択肢を選ぶ方式)の設問の場合、回答は選択肢ごとの有効回答数に対して、それぞれの割合を示しています。そのため、合計が100%を超える場合があります。
- 図表中において「無回答」とあるものは、回答が示されていない、または回答の判別が困難なものです。
- 図表中の設問の選択肢は簡略化している場合があります。
- K6については、問12(1)～(6)の6項目を全て回答している場合、総スコアを算出し、それ以外は判定不能としています。

※「K6」を用いた分析について

K6は米国のKesslerらによって、うつ病・不安障害などの精神疾患をスクリーニングすることを目的として開発され、一般住民を対象とした調査で心理的ストレスを含む何らか

の精神的な問題の程度を表す指標として広く利用されています。

- リスク判定として、K6 補正值と特定リスクの該当数を組み合わせて、メンタルヘルスリスクを「高度」「中等度」「軽度」「疑い」「問題なし」の5段階、および「判定不能」に区分しました。

4 調査結果の概要

○ こころの健康について

前回の結果と比較すると、高度の心理的ストレスを抱える者の割合は8.3%と前回から1.6ポイント減少し、中等度の心理的ストレスを抱える者の割合は0.3ポイント増加しています。また、問題のない者の割合は1.9ポイント増加しています。

※心理的ストレスの判定(K6)に関連する項目(問12)に全問回答した判定可能な対象者(889人)を集計しています。

【心理的ストレスの判定の結果(K6)】

・今回の健康調査

	問題なし	軽度のリスク	中等度のリスク	高度のリスク
該当者の割合	57.2%	25.4%	9.0%	8.3%

・前回(第1回)の調査結果(R3年8月～9月実施)

該当者の割合	55.3%	26.1%	8.7%	9.9%
--------	-------	-------	------	------

(参考)

・平成22年の国民生活基礎調査(平時の割合:熊本県調査結果)(※H22が直近の統計)

該当者の割合	60.6%	26.4%	8.9%	4.1%
--------	-------	-------	------	------

・熊本地震時(第2回)の調査結果(H30年3月～6月実施)

該当者の割合	59.5%	24.3%	8.1%	8.1%
--------	-------	-------	------	------

○ からだの健康について

健診等の受診状況に係る設問(問10)の結果では、過去1年以内に健診等を受けたと回答した者の割合が、前回より4.5ポイント増加し、60.0%となっています。

【参考:県の特定健康診断受診率51.2%(R2年度)】

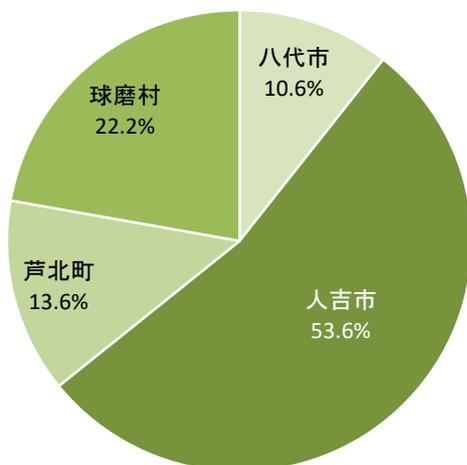
被災後、治療・受診を中断している病気がある者の割合(問11)は、5.9%と前回から0.8ポイント減少しています。

5 結果を受けての対応

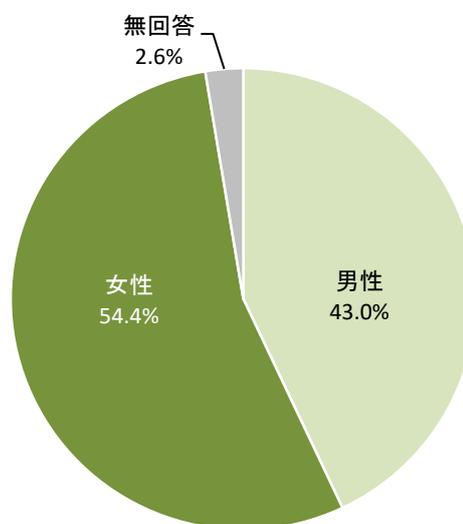
心理的ストレスの高い者については、市町村、地域 支え合いセンター及び熊本こころのケアセンター(精神保健福祉センター)等で情報を共有し、早急に対応する必要がある場合は直接本人に架電や訪問するなどの対応を行い、今後も個別の相談対応等を引き続き行っていくこととしています。また、治療・受診を中断している病気がある者への効果的な受診勧奨につなげるため、本調査の結果を市町村の保健部門へ情報提供しています。

6 調査対象者の属性

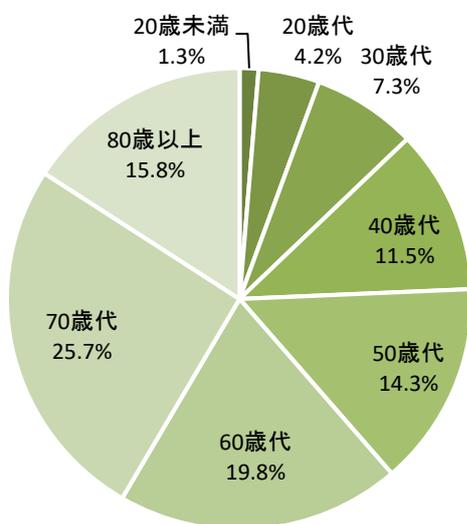
居住地



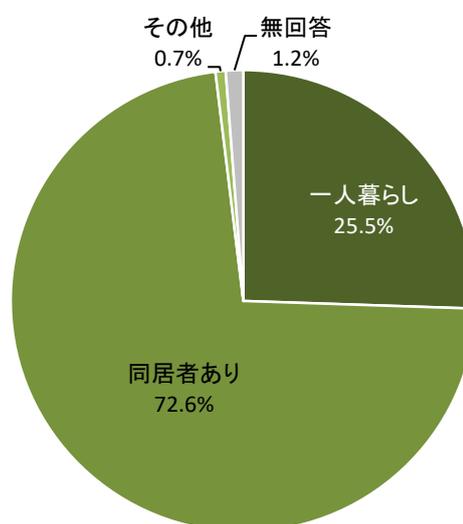
性別



年齢

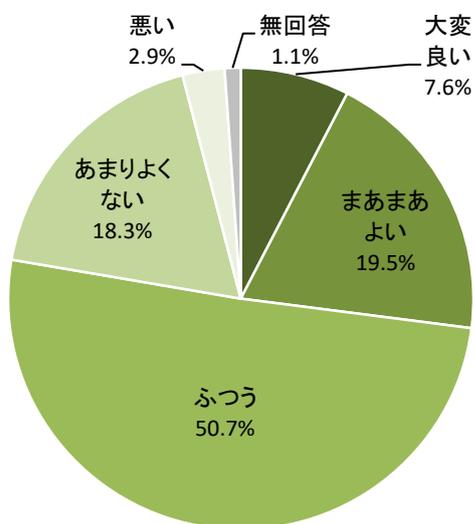


生活状況

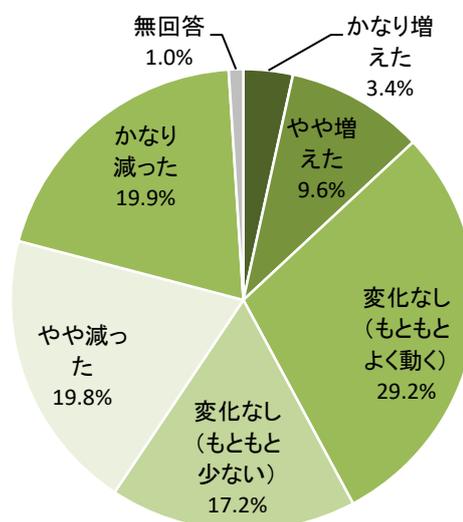


7 質問項目

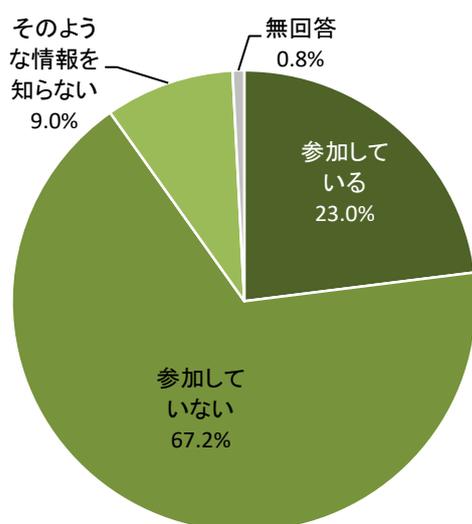
【問 1】 体調はいかがですか。



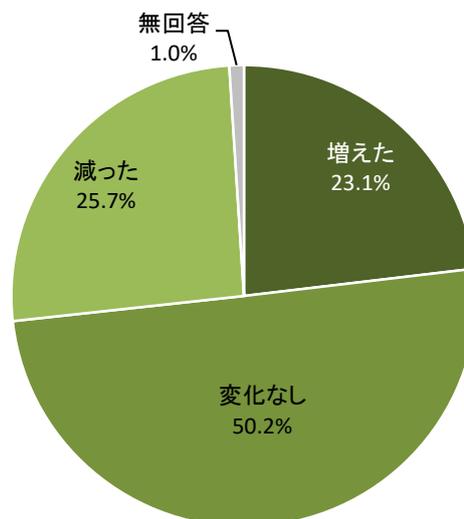
【問 2】 普段の生活でからだを動かす機会は被災前と比べてどうなりましたか。



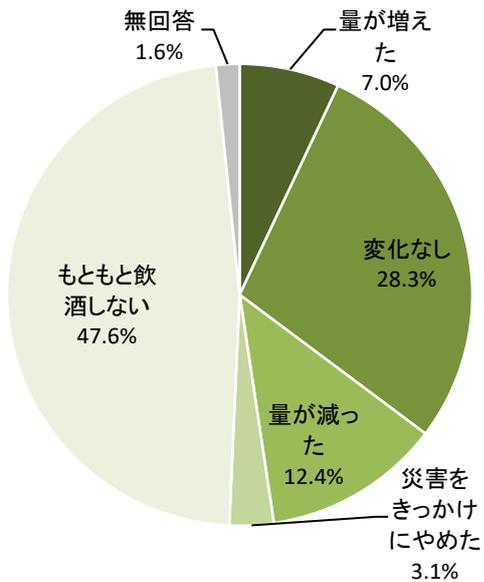
【問 3】 地域で開催される行事や交流の場に参加していますか。



【問 4】 体重は被災前と比べてどうなりましたか。

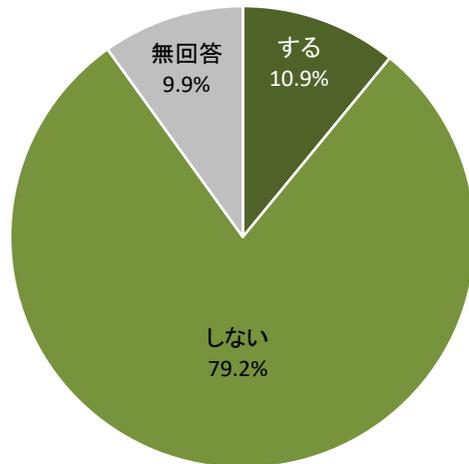


【問 5】 飲酒の量は被災前と比べて
どうなりましたか。



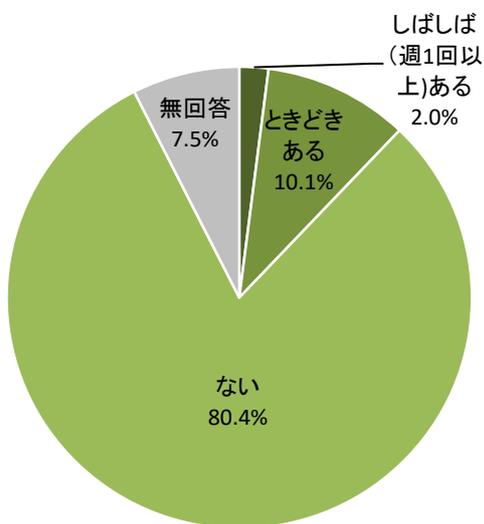
※20歳未満を除いて算出

【問 6】 飲酒する方にお尋ねします。平均すると1日3合以上飲酒しますか。



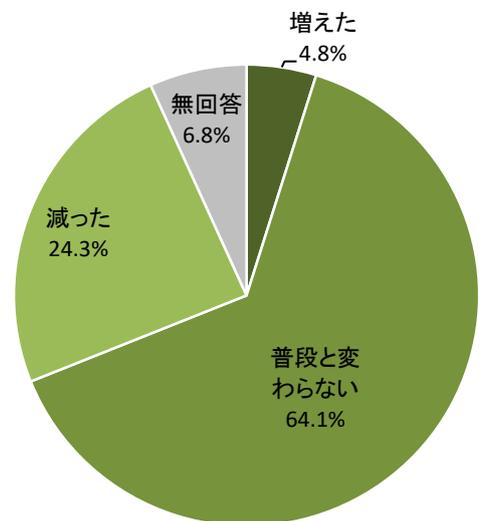
※20歳未満及び【問 5】で「もともと飲酒しない」を回答した人・無回答者を除いて算出

【問 7】 朝または昼から飲酒することが
ありますか。

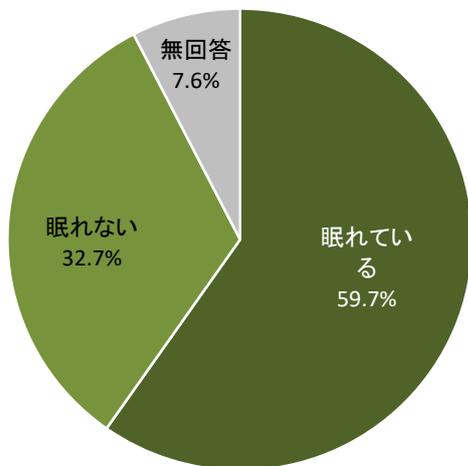


※20歳未満及び【問 5】で「もともと飲酒しない」を回答した人・無回答者を除いて算出

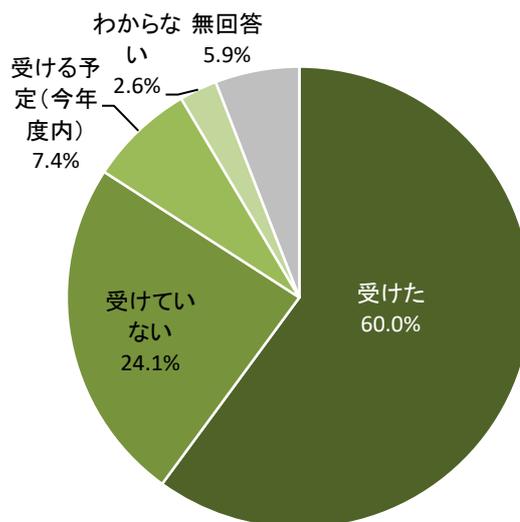
【問 8】 食欲はいかがですか。



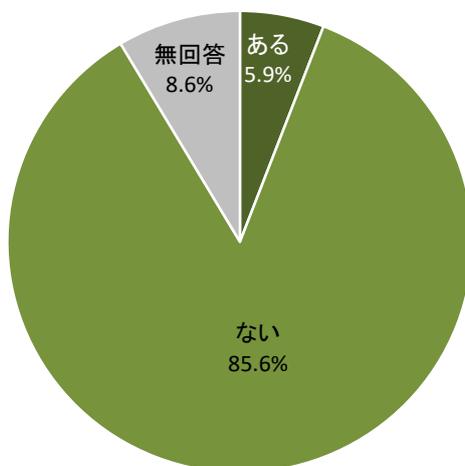
【問 9】 睡眠はいかがですか。



【問 10】 被災後、職場や市町村で行われる健康診断や人間ドックを受けましたか。

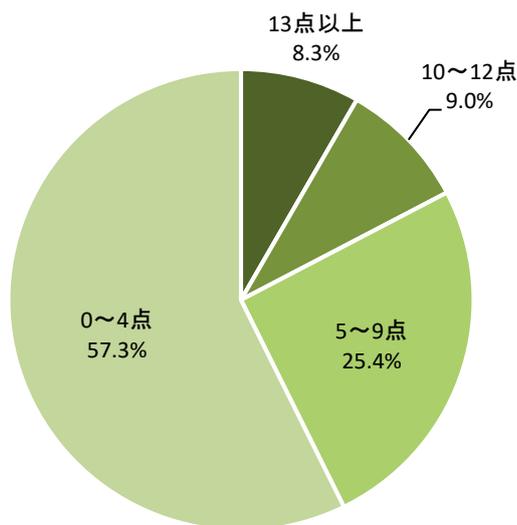


【問 11】 被災後、治療・受診を中断している病気がありますか。



【問 12】 過去 30 日の間に、どれくらいの頻度で次のことがありましたか。すべての項目について当てはまるものに☑をご記入ください。

- (1) 神経過敏を感じる
- (2) 絶望的だと感じる
- (3) そわそわ、落ち着かなく感じる
- (4) 気分が沈み込んで、何が起ころっても気が晴れない感じがする
- (5) 何をすることも骨折りだと感じる
- (6) 自分は価値のない人間だと感じる



【心理的ストレスの判定の結果(K6)】

※「K6」を用いた分析結果

K6 は米国の Kessler らによって、うつ病・不安障害などの精神疾患をスクリーニングすることを目的として開発され、一般住民を対象とした調査で心理的ストレスを含む何らかの精神的な問題の程度を表す指標として広く利用されています。

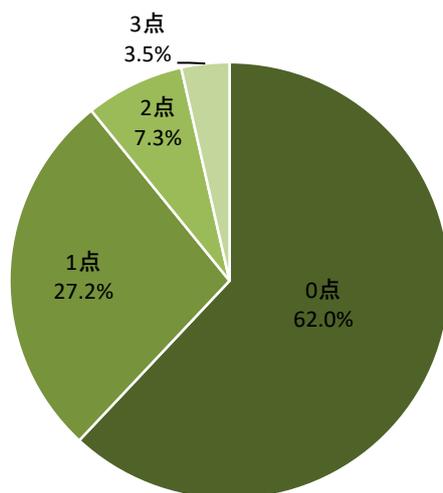
【問 12】の 6 つの質問について、各 5 段階(「全くない」(0 点)、「少しだけ」(1 点)、「ときどき」(2 点)、「たいてい」(3 点)、「いつも」(4 点))で点数化し、合計点数が高いほど、精神的な問題がより重い可能性があると考えられています。

なお、13 点以上で深刻な問題が発生している可能性が高いといわれています。

※調査項目に全問回答を行った判定可能な対象者(889 人)を集計

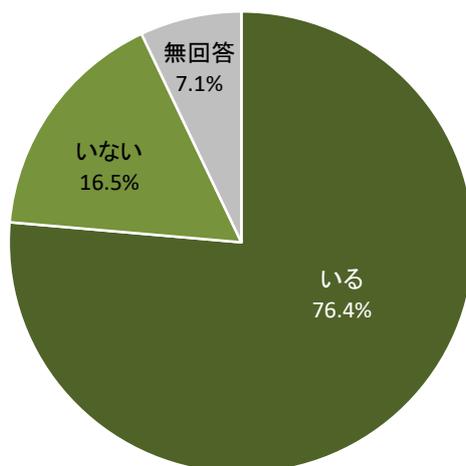
【問 13】 令和 2 年 7 月豪雨の記憶についてお尋ねします。下記の反応は令和 2 年 7 月豪雨のような災害のあと、誰にでもみられることです。最近 1 週間の間に 2 回以上、下記のようなことがありましたか。あてはまるものすべてに☑をご記入ください。

- (1) 思い出したくないのに、災害のことを思い出したり、夢に見る。
- (2) 思い出すとひどく気持ちが動揺する。
- (3) 思い出すと体の反応が起きる。(心臓が苦しくなる、息が苦しくなる、汗をかく、めまいがする、など)



※ 過去 1 週間の心的外傷後ストレス障害(PTSD)に関する 3 つの項目からなるスクリーニング尺度。1 項目該当で 1 点。2 点以上をもって PTSD 症状ありの基準とされる。

【問 14】 悩みを相談できる人はいますか。



<調査票の書式>

調査票 ※本調査票1枚につき、18歳以上の家族の方お一人ずつご記入をお願いいたします。

整理番号

フリガナ		きにゆうび 記入日	れいわ ねん(2022年) 令和4年(2022年) が 月 に 日
ほんにんしめい 本人氏名	1 <input type="checkbox"/> 男 2 <input type="checkbox"/> 女	せたいぬしめい 世帯主氏名	
せいねんがっぴ 生年月日	1 <input type="checkbox"/> 大正 2 <input type="checkbox"/> 昭和 3 <input type="checkbox"/> 平成	ねん 年	が 月 に 日 [] さい 歳
げんざい 現在の お住まい	1 <input type="checkbox"/> 仮設団地 2 <input type="checkbox"/> みなし仮設 3 <input type="checkbox"/> 公営住宅等 4 <input type="checkbox"/> その他 []		
じょうき 上記の住所			
でんわばんごう 電話番号	() _____ ※なるべく日中、連絡のつく番号をご記入ください けいたいでんわ ばあい けいたいでんわ 携帯電話の場合→どなたの携帯電話ですか? []		
せいかつじょうきょう 生活状況	1 <input type="checkbox"/> 一人暮らし 2 <input type="checkbox"/> 同居者あり 3 <input type="checkbox"/> その他 []		



上記太線枠内をご記入の上、以下の質問に、当てはまるものに一つだけ を付けて下さい。

問1. 体調はいかがですか。

- 1 大変良い 2 まあまあよい 3 ふつう 4 あまりよくない 5 悪い

問2. 普段の生活でからだを動かす機会は、被災前と比べてどうなりましたか。

- 1 かなり増えた 2 やや増えた 3 変化なし(もともとよく動く)
4 変化なし(もともと少ない) 5 やや減った 6 かなり減った

問3. 地域で開催される行事や交流の場に参加していますか。

- 1 参加している 2 参加していない 3 そのような情報を知らない

問4. 体重は、被災前と比べてどうなりましたか。

- 1 増えた 2 変化なし 3 減った

問5. 飲酒の量は、被災前と比べてどうなりましたか。

- 1 量が増えた 2 変化なし 3 量が減った 4 災害をきっかけにやめた
5 もともと飲酒しない

問6. 飲酒する方にお尋ねします。平均すると1日3合以上飲酒しますか。

※3合の目安：日本酒3合／ビール中瓶3本／焼酎（25度）330mL／ワイン100mL 6杯

1□ する 2□ しない

問7. 朝または昼から飲酒することがありますか。

1□ しばしば（週1回以上）ある 2□ ときどきある 3□ ない

問8. 食欲はいかがですか。

1□ 増えた 2□ 普段と変わらない 3□ 減った

問9. 睡眠はいかがですか。

1□ 眠れている 2□ 眠れない

問10. 被災後、職場や市町村で行われる健康診断や人間ドックを受けましたか。

1□ 受けた 2□ 受けていない 3□ 受ける予定（今年度内） 4□ わからない

問11. 被災後、治療・受診を中断している病気がありますか。

1□ ある ⇒ 病名を御記入下さい。病名（ ）

2□ ない

問12. 過去30日の間に、どれくらいの頻度で次のことがありましたか。

すべての項目について最もよく当てはまるものにひとつだけ☑をご記入ください。

		まった 全くない	すこ 少しだけ	ときどき	たいてい	いつも
1	神経過敏に感じる	0□	1□	2□	3□	4□
2	絶望的だと感じる	0□	1□	2□	3□	4□
3	そわそわ、落ち着かなく感じる	0□	1□	2□	3□	4□
4	気分が沈み込んで、何が起ころっても気が晴れない感じがする	0□	1□	2□	3□	4□
5	何をするにも骨折りだと感じる	0□	1□	2□	3□	4□
6	自分は価値のない人間だと感じる	0□	1□	2□	3□	4□

問13. 令和2年7月豪雨の記憶についてお尋ねします。下記の反応は令和2年7月豪雨のような災害のあと、誰にでもみられることです。最近1週間の間に2回以上、下記のようなことがありましたか。あてはまるものすべてに をご記入ください。

- 1 思い出したくないのに、災害のことを思い出したり、夢に見る。
- 2 思い出すとひどく気持ちが動揺する。
- 3 思い出すと体の反応が起きる。(心臓が苦しくなる、息が苦しくなる、汗をかく、めまいがする、など)

問14. 悩みを相談できる人はいますか。

- 1 いる 2 いない

問15. 心身やからだの健康面でご心配なことがありましたら自由にご記入ください。

ご協力ありがとうございました。記入漏れがないかご確認の上、ご家族も含めてご提出ください。